

# RSView32 Active Display System



## テクニカルデータ

**R**SView32 Active Display System™は、ネットワーク上のあらゆるコンピュータからRSView32™グラフィックディスプレイをロード、実行、相互動作することにより、高度なデータ表示機能を提供します。このクライアント/サーバソリューションにより、プロセス制御システムの使用範囲がプラントフロアだけでなくオフィスなどに広がります。

RSView32 Active Display Systemでは、Microsoft の分散コンポーネント・オブジェクト・モデル (DCOM) および ActiveX テクノロジーによって、異なるコンピュータのコンポーネントの表示や、信頼性が高く合理化された通信が可能になります。

RSView32 Active Display Systemでは、クライアントのアクセス権限をリード/ライトまたはリード専用を設定したり、サーバ側のフローティングアクティベーションまたはクライアント側の専用アクティベーションを選択することができます。ライセンスを取得したクライアントは、最大20台まで同時に接続できます。

RSView32 Active Display Systemには、以下が含まれています。

**Active Display Server** : RSView32 WorksまたはRSView32 Runtime がインストールされているコンピュータで実行されるサーバソフトウェア。すべての開発/実行ファイルはActive Display Serverに格納されるため、RSView32プロジェクトの一元的な管理と修正ができます。

**Active Display Station** : サーバ上に接続されたコンピュータで実行されるクライアントソフトウェア。

**Active Display Browser** : インタラクティブなリアルタイムRSView32グラフィックディスプレイをMicrosoft Internet ExplorerのWebブラウザに統合するWebクライアントソフトウェア。Active Display Browserでは、RSView32グラフィックや各種Webページを簡単に操作できます。

## RSView32プロジェクトのリモートでの相互動作

RSView32 Active Display Systemは、RSView32 Runtimeソフトウェアの多くの機能をサポートしています。RSView32 Active Display Systemによって、クライアントコンピュータから以下を行なうことができます。

リアルタイムのアニメーション・グラフィック・ディスプレイの表示と相互動作

グラフィックディスプレイに埋め込まれたアラームの表示と管理  
RSView32 Messenger™からのアラームメッセージの受取り

埋め込まれた履歴トレンドまたはリアルタイムトレンドの表示と制御

セットポイントの変更

## サーバからのクライアントソフトウェアの管理

RSView32 Active Display Systemを使用して、以下を行なうことができます。

**クライアントソフトウェアの自動的な配置** : Microsoft Internet Explorerを使用して、ネットワーク上のクライアントワークステーションにActive Display Systemクライアントソフトウェアをインストールまたは更新できます。クライアントコンピュータにInternet Explorerがインストールされている場合、サーバコンピュータのURLをブラウズすると、クライアントコンピュータ上にクライアントソフトウェアが自動的にインストールされます。クライアントソフトウェアは、クライアント側のバージョンとサーバ側のバージョンを比較して、必要であればソフトウェアを自動的にアップグレードします。

**ActiveXオブジェクトの自動的な配置** : グラフィックディスプレイ内に表示するには、Active Display StationクライアントコンピュータにActiveXオブジェクトをインストールする必要があります。CABファイルを使用すると、手動で行なう必要はなく、必要に応じて、サーバはActiveXコンポーネントをクライアントに自動的に配置します。

## 要件に適合するシステムの設計

RSView32 Active Display Systemは、サーバとクライアントが相互接続された複数の構成をサポートしています。例えば、以下を行なうことができます。

複数のクライアントを1つのサーバに接続する。

1つのクライアントコンピュータを、別々のウィンドウを持つ複数サーバに接続する。

サーバコンピュータを他のサーバへのクライアントとして接続する。

RSView32 Active Display Systemは、サーバライセンスとクライアントライセンスの両方をサポートしています。サーバにフローティング・クライアント・ライセンスをインストールしている時は、サーバはクライアントに対してライセンスを動的に割付けることができます。サーバのフローティングライセンスに関係なく、特定のクライアントからサーバにアクセスしたい場合は、各クライアントに専用ライセンスをインストールすることもできます。また、クライアントからプロジェクトのデータに書き込む必要がなく、表示またはモニタのみを行なう場合は、低コストの表示専用フローティングライセンスをサーバにインストールすることもできます。現在、RSView32では、同時に使用するフローティングまたは専用クライアントコネクションとして、最大20をサポートしています。



Bringing Together Leading Brands in Industrial Automation



クトを複製しなければなりません。また、グラフィックディスプレイが共通のネットワークドライブに格納されていても、コンピュータごとにタグデータベースとプロジェクトファイルが必要です。プロジェクトの更新も、コンピュータごとに行なう必要があります。それぞれのRSView32ステーションがPLCを別々にスキャンするため、通信ネットワークの更新時間が問題になることもあります。

RSView32 Active Display Systemでは、Active Display Serverのタグデータベース付きプロジェクトにより、これらの問題が解消されます。プロジェクトへの変更は、クライアント側に迅速に反映されます。RSView32 Active Display Systemでは、サーバ側にアラームサブシステムがあり、クライアント側でもアラームを表示したり確認できるため、アラームをグローバルに管理できます。さらに、DCOMを使用して通信が処理されるため、HMIソフトウェア製品を使用するアーキテクチャと比べて格段に優れた通信速度が実現します。

## インターネットを介したリモートアクセス

ロックウェル・ソフトウェアでは、インターネットを介したRSView32 Active Display Systemの使用をサポートしていません。RSView32 Active Display Systemは、企業ファイアウォール内のイントラネットでの使用を想定しています。これは、Active Display Server、Active Display Station、およびActive Display Browserについても同様です。

RSView32グラフィックディスプレイ、タグデータ、アラームデータの静的で非インタラクティブな表示を提供するRSView32 WebServerは、インターネット上で使用するための機能を備えています。しかし、ユーザの皆様は、十分なセキュリティ機能を持たないインターネット上でシステムやRSView32プロジェクトを使用したくないとお考えのことと思います。サービス拒否の攻撃や各種セキュリティリスクを回避するために、RSView32プロジェクトをファイアウォールで保護することをお奨めします。

## ダイヤルアップネットワークを介したリモートアクセス

RSView32 Active Display Systemでは、保護された企業ネットワークへのリモート・アクセス・ダイヤルアップ接続をサポートしています。

## セキュリティ機能

### サーバ側のセキュリティ

RSView32 Active Display Systemでは、RSView32またはWindows NTのセキュリティコードとユーザアカウントの設定により、許可のないユーザのActive Display Serverへのアクセスを防止できます。Active Display Stationからサーバに接続しようとする、システムはユーザ名とパスワードを求め、プロンプトを表示して、サーバ上で実行しているRSView32プロジェクトのセキュリティとユーザアカウント情報を照合します。Windows NTのセキュリティ機能を使用するようにプロジェクトを構成すると、RSView32で独自のユーザアカウントを保持する必要がありません。プロジェクトがWindows NTのセキュリティ機能を使用している場合、RSView32 Active Display Systemは、ユーザ名と

パスワードの入力を求めずに、ユーザが入力したWindowsログインとWindows NTサーバのユーザアカウントを自動的に照合します。

ユーザがいったんログインすると、現在実行中のプロジェクトに定義されたセキュリティ設定がクライアントの中で有効になります。Active Display Serverは、クライアントからのすべてのコマンドについて、ログインユーザのアクセス権限を確認します。また、クライアントからのマクロコマンドのセキュリティコードについても、ユーザのアクセス権限を確認します。

### 代替サーバ

Active Display Stationクライアントを構成する際、プライマリサーバとの通信でフォルトが発生した場合に使用するために、代替サーバを指定できます。プライマリサーバとの通信でフォルトが発生すると、クライアントのウィンドウがクローズして、代替サーバとの新しいクライアントセッションが確立するため、ユーザが再びログインする必要がありません。これは冗長サーバ機能ではありませんが、プライマリサーバのフォルト発生時における保護手段となります。

### クライアントのコネクションの管理

サーバ側でDisplay Server Monitorを使用すると、クライアントをモニタして、クライアントのコネクションを切断できます。

## 推奨要件

### Active Displayサーバ要件

RSView32 Active Display Serverは、RSView32 WorksまたはRSView32 Runtimeがインストールされたコンピュータにインストールします。以下を必要とします。

Pentium 133～200MHz以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ(アプリケーションの複雑さとクライアントのコネクション数によって異なる)

Service Pack 4または6a付きで、Peer Web ServerまたはInternet Information ServerがインストールされたMicrosoft Windows NT 4.0 (Windows 9xではサポートされない)(Windows NT ServerまたはNT Workstationのいずれかを使用できる)、またはMicrosoft Internet Information Server 5.0がインストールされたWindows 2000 32～256MバイトのRAM(プロジェクトの複雑さとクライアントのコネクション数によって異なる)

RSView32 WorksまたはRSView32 Runtimeソフトウェア(およびPLCドライバ)

10MbpsのEthernet接続(または100MbpsのEthernet、プロジェクトの複雑さによって異なる)

Microsoft Internet Explorer 5.0 または Service Pack 2 付きの Ver. 4.01 サーバとクライアントの両方に Windows NT Service Pack 5以降がインストールされていて、RSView32 セキュリティを使用しているときは、プライマリ・ドメイン・コントローラは不要です。しかし、NT セキュリティを使用しているときは、プライマリ・ドメイン・コントローラが必要です。NT のセキュリティを使用している場合は、プライマリ・ドメイン・コントローラとして機能する 1 台の

Microsoft Windows NTサーバをネットワークに含むこと。  
RSView32 Active Display Systemのすべてのコンピュータを同じドメインのメンバーとして含むこと。

詳しい要件は、弊社ホームページのサポートライブラリより、テクニカルノート A1371 を参照してください。

#### Active Display クライアント要件

100MHz以上のPentiumプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ(アプリケーションの複雑さによって異なる)

Service Pack 4または6a付きのMicrosoft Windows NT 4.0、Microsoft Windows 2000、またはWindows 9x (RSView32 Active Display System インストールに標準装備の9xアドオン用のDCOM付き)

24~64MバイトのRAM(プロジェクトの複雑さによって異なる)

10MbpsのEthernet接続(または100MbpsのEthernet、プロジェクトの複雑さによって異なる)

Microsoft Internet Explorer 5.0、またはService Pack 2付きのVer. 4.01

詳しい要件は、弊社ホームページのサポートライブラリより、テクニカルノート A1371 を参照してください。

#### 関連資料

以下に示すThe Automation Bookstoreから関連資料を入手できます。

[www.theautomationbookstore.com](http://www.theautomationbookstore.com)

**RSView32カタログ** 9398-VIEW32PF

**RSView32 Technical Data** 9398-VW32TD

**RSView32 Sampler & Tutorial CD-ROM** 9398-VW32STCD

**RSView32 WebServer Technical Data** 9398-WEBSRVTD

**RSView32 Messenger Technical Data** 9398-VW32MSGTD

#### オンラインショップ

RSView32 Active Display Systemをオンラインストアからご注文される場合は、以下にアクセスしてください。

[www.rockwellautomation.com/rsstore](http://www.rockwellautomation.com/rsstore)

## Rockwell Software

ロックウェル・ソフトウェアのパッケージの最新価格またはデモンストレーションの詳細は、当社の代理店までお問い合わせください。ロックウェル・ソフトウェアの製品開発の最新情報については、以下のWebサイトにアクセスしてください。

[www.software.rockwell.com](http://www.software.rockwell.com)

Reach us now at [www.rockwellautomation.com](http://www.rockwellautomation.com)

**Americas Headquarters**, 1201 South Second Street, Milwaukee, WI 53204, USA, Tel: (1) 414 382-2000, Fax: (1) 414 382-4444  
**European Headquarters SA/NV**, avenue Herrmann Debroux, 46, 1160 Brussels, Belgium, Tel: (32) 2 663 06 00, Fax: (32) 2 663 06 40  
**Asia Pacific Headquarters**, 27/F Citicorp Centre, 18 Whitfield Road, Causeway Bay, Hong Kong, Tel: (852) 2887 4788, Fax: (852) 2508 1846



#### ロックウェルオートメーションジャパン株式会社

本社営業部	〒 104-0033	東京都中央区新川1-3-17	TEL (03) 3206-2786	FAX (03) 3206-2386
関西支店	〒 532-0011	大阪市淀川区西中島5-14-5	TEL (06) 6305-6210	FAX (06) 6305-6792
中部支店	〒 460-0003	名古屋市中区錦1-6-5	TEL (052) 222-7060	FAX (052) 222-7065
横浜事業所	〒 236-0003	横浜市金沢区幸浦2-12-19	TEL (045) 788-2180	FAX (045) 788-2170

2000 Rockwell Software Inc. All rights reserved. Printed in the United States of America. RSView32, RSView32 Active Display System, RSLinx, RSServer, RSView32 WebServer, RSView32 Messenger, およびRockwell Softwareのロゴは、Rockwell Software Inc.の商標です。PLCはAllen-Bradley Companyの登録商標です。また、SLCは商標です。Microsoft, ActiveX, FoxPro, Visual Basic, Windows, およびWindows NTは、Microsoft Corporationの登録商標です。また、Microsoft AccessおよびExcelは商標です。他のすべての商標は、その各々の所有者の資産であることをここに記します。

Doc ID 9398-VW32ADTDJA-JUL00